

**平成28年3月市議会における政策提案とその対策等**〔議案質疑・**一般質問**・委員会〕

担当課	企画政策課	議員名	馬場 繁 議員
<b>〔提案事項〕</b> 下水道事業が公営企業会計へ移行する時期に併せ、上水道事業と組織統合することで、事業の効率化や人件費、経費等の抑制に繋がり、また、窓口手続きが一元化することで、市民サービスの向上にも繋がると考える。このため、上・下水道事業の組織統合を提案する。			
<b>〔現況等〕</b> 現在、上・下水道事業の組織統合はなされていないが、下水道事業の企業会計移行時に水道事業と統合することで意思決定を行っている。			
<b>〔政策提案を受けての対策〕</b> 組織統合による上・下水道一体経営のメリットとしては、事業統合により人員やコストの削減、技術職員の効率的な配置などのほか、窓口の一元化による市民サービスの向上や設備業者への指導監督の強化が考えられる。 一方、上下水道の窓口が本庁舎内に無くなることや、統合先の事務スペースの確保、また、それぞれの管路が異なる管理台帳システムで管理されていることなど課題も多い。 上・下水道事業を組織統合するにあたり、発生する諸々の課題や事務手続き等の対応について協議する庁内関係部署の担当者レベルの会議を定期的で開催するとともに、下水道事業の公営企業法適用可能な時期を見据えて、議会等への説明を行っていきたい。			
<b>〔対応状況・平成31年3月31日現在〕</b> 平成31年4月1日付けで組織を統合した。 <b>【完了】</b>			